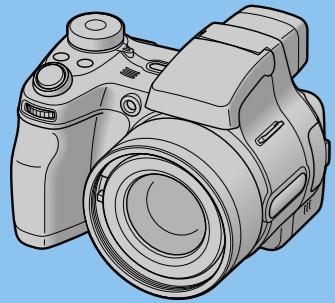


サイバーショット取扱説明書

はじめにお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本書と別冊の「安全のために」、「サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



DSC-H1

Cyber-shot
MEMORY STICK™

あわせてご覧ください。



「Cyber-shot Life」(付属CD-ROM) (Windowsのみ対応)
準備から活用まで、サイバーショットの楽しみかたをムービーで紹介します。



取扱説明書「活用編・困ったときは」(別冊)
進んだ活用法と、困ったときの解決方法などを説明します。



サイバーショットの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

© 2005 Sony Corporation Printed in Japan

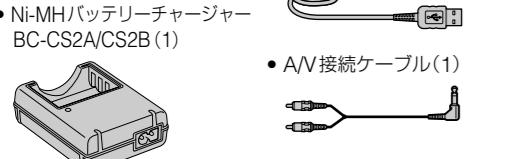
この説明書は100%古紙再生紙と
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物
油型インキを使用しています。
eco info



2629893010

付属品の確認してください

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
• Ni-MHバッテリーチャージャー BC-CS2A/CS2B(1)



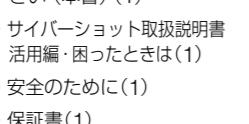
• USBケーブル(1)
• A/V接続ケーブル(1)
• ショルダーストラップ(1)



• 電源コード(1)
• 単3形ニッケル水素電池(2)



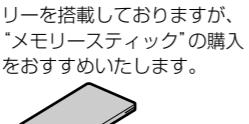
• レンズキャップ(1)/レンズキャップひも(1)
• サイバーショットアクリルショッピングトゥエア(1)



• レンズフード(1)
• アダプターリング(1)



• メモリースティック™は付属していません
本機には32MBの内蔵メモリーを搭載しておりますが、
「メモリースティック」の購入をおすすめいたします。



ご使用前に行ってください

- はじめてお使いになるときは、付属の単3形ニッケル水素電池を充電してください。
- 本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつけたり、無理な力をかけないでください。
また、落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてお使いください。
→別冊「活用編・困ったときは」14ページ

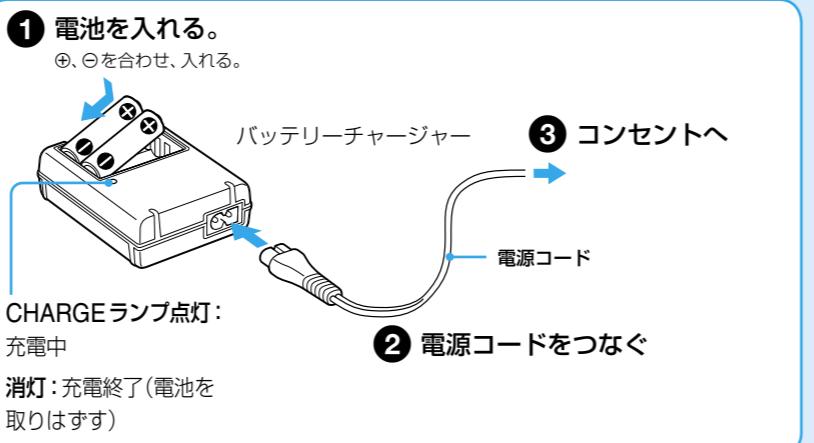
■ サイバーショットオフィシャルWEBサイト
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/>

■ 使用上での不明な点や技術的なご質問
テクニカルインフォメーションセンター

電話: 0564-62-4979 (おかげ間違いにご注意ください。)

受付時間: 月~金曜日 午前9時~午後5時(年末/年始/祝日を除く)

1 電池を準備する



- バッテリーチャージャーは、お手近なコンセントにつないでください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消しても電源から遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 使い終わったら、電源コードをコンセントから取りはずしてください。ニッケル水素電池をバッテリーチャージャーから取り出してください。

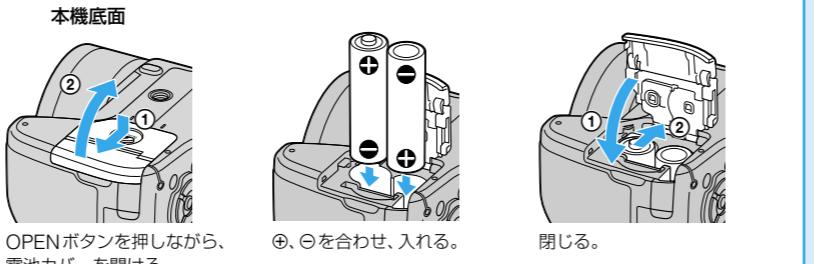
ニッケル水素電池

NH-AA-DA×2 (付属)

約6時間

- 表は、付属のニッケル水素電池を使い切ってから、温度25°Cで充分に充電するまでの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- CHARGEランプが6時間以上点灯することがありますが故障ではありません。

4 充電した電池を入れる。



付属の電池以外を使うには

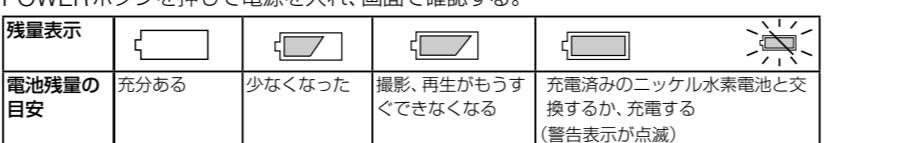
単3形ニッケル水素電池/単3形ニッケルマンガン電池
がお使いになります。
→別冊「活用編・困ったときは」99ページ

コンセントの電源で本機を使うときは

別売りのACアダプター AC-LS5Kを使うと、コンセントにつないで使うことができます
→別冊「活用編・困ったときは」13ページ。取り扱いについて詳しくは、ACアダプターの取扱説明書をご覧ください。

電池の残量を確認するときは

POWERボタンを押して電源を入れ、画面で確認する。



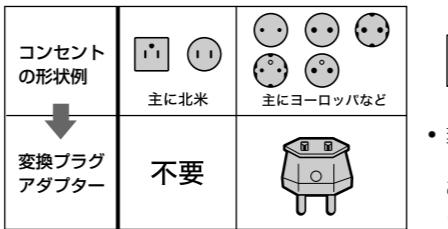
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- ニッケルマンガン電池使用時は、電池残量表示が正しく表示されません。
- ACアダプター(別売り)使用時は電池残量表示は表示されません。

電池を取り出すときは

本機の底面を上に向け、電池カバーを開ける。
電池が落ちないようにご注意ください。

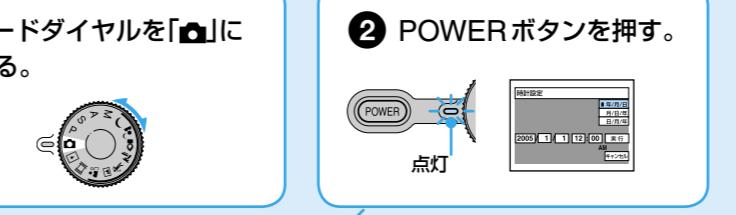
海外で使うときは

バッテリーチャージャー(付属)やACアダプター AC-LS5K(別売り)は全世界の電源(AC100V~240V・50/60Hz)で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。



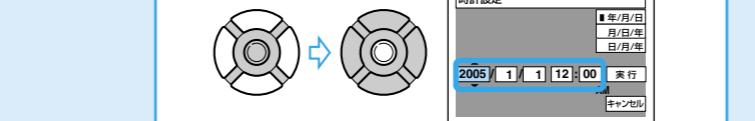
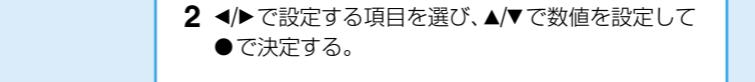
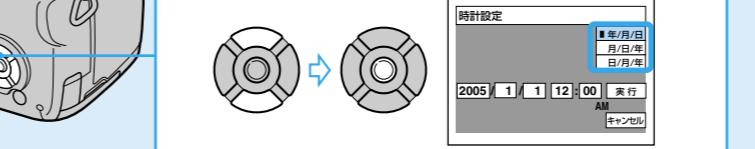
- 変換プラグアダプター [a]/電源コンセント [b]の形状は国や地域によって異なります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は故障の原因となるので使わないでください。

2 電源を入れ、時計を合わせる



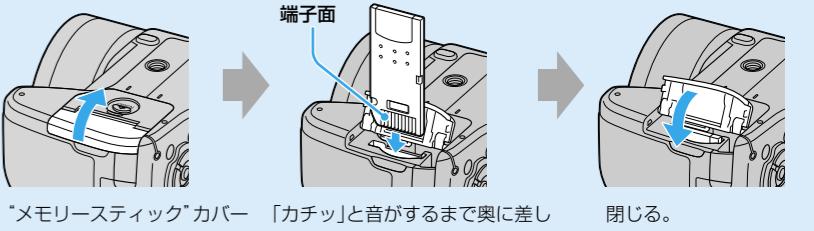
3 モードダイヤルを「■」にする。

3 コントロールボタンで、時計を合わせる。



- 時計合わせを中止するには、[キャンセル]を選んで、●を押す。

3 “メモリースティック”(別売り)を入れる



“メモリースティック”が挿入されていないときは
本機の内蔵メモリー(32MB)に画像を記録/再生します。
→別冊「活用編・困ったときは」22ページ

4 用途に合わせて画像サイズを決める

1 モードを選ぶ。

静止画のとき



動画のとき



2 ■/■(画像サイズ)ボタンを押す。

3 画像サイズを選ぶ。



- 静止画のときの画面です。動画のときは[640(ファイン)](*メモリースティック PRO*のみ)、[640(スタンダード)]、[160]から選びます。

4 ■/■(画像サイズ)ボタンを押して、設定を終了する。

静止画の画像サイズについて

「画像サイズ」について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」11ページ

画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
5M (2592×1944) (お買い上げ時の設定)	A4サイズプリントやA5サイズ高精細プリントする場合	少ない	精細
3:2 (2592×1728)*	写真のL判でプリントする場合	多く	
3M (2048×1536)	より多くの画像を撮影する場合	多く	
1M (1280×960)	Eメールへの画像添付やホームページ作成用の場合	多く	粗い
VGA (Eメール) (640×480)			

* 写真的印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。

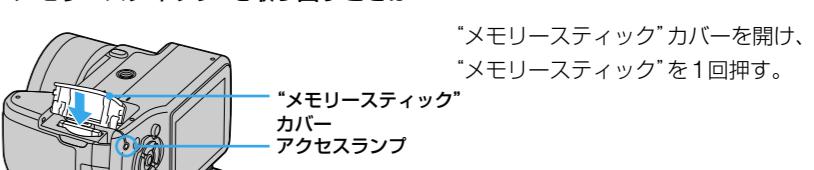
静止画の記録可能枚数と動画の記録時間について

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録時間が変わります。
詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」21ページ

静止画のとき	動画のとき
撮影可能枚数	最大記録可能時間

・記録枚数は、撮影状況によって異なります。

“メモリースティック”を取り出すときは

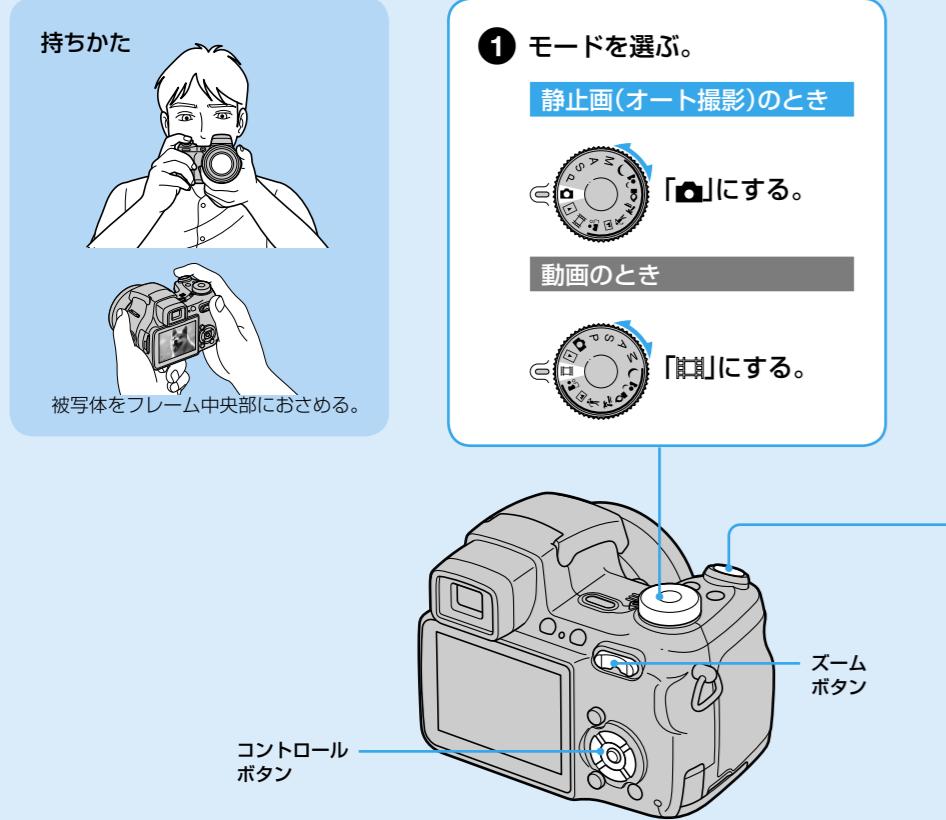


アクセスランプ点灯中は

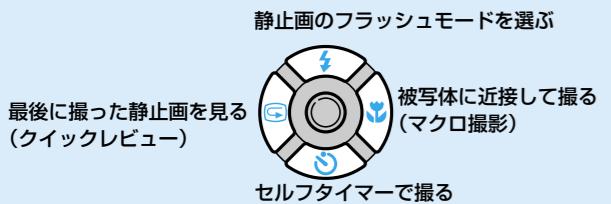
絶対に電池カバーを開けたり、“メモリースティック”を取り出したり、電源を切らないでください。データが壊れることがあります。

裏面へつづく

5 簡単に撮る(オート撮影)



コントロールボタンの機能を使うには



④ 最後に撮った静止画を見る (クリックレビュー)

コントロールボタンの◀(左)を押す。
やめるには、もう一度◀を押す。



- 表示直後は画像が粗いことがあります。
- 画像を削除するには、■/▲(削除)ボタンを押し、コントロールボタンの▲で[削除]を選び、●を押します。

静止画のフラッシュモードを選ぶ

手順②の前に、コントロールボタンの▲(上)を押す。
やると、設定が変わります。



- 表示なし 光量不足/逆光と判別したとき発光
(お買い上げ時の設定)
- 強制発光

SL スローシンクロ(強制発光)
暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。



- フラッシュ発光部が自動的に持ち上がり発光します。フラッシュ使用後は手で閉じてください。
- アダプターリング(付属)やレンズフード(付属)を付けていると、フラッシュの発光が止まります。

W側 約0.3~6.8m
T側 約0.9~5.2m

- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。

表示なし

⑤ 被写体に近接して撮る(マクロ撮影)

手順②の前に、コントロールボタンの▶(右)を押す。
やると、もう一度▶を押す。



- 表示直後は画像が粗いことがあります。
- 画像を削除するには、■/▲(削除)ボタンを押し、コントロールボタンの▲で[削除]を選び、●を押します。

ズームするには

ズームするには

軽く押すとゆっくりズームし、さらに深く押すと早くズームする。

- レンズの倍率(12倍)を超えると「デジタルズーム」になります。
[デジタルズーム]の種類と画質について→別冊「活用編・困ったときは」50ページ
- 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。

静止画のピントがうまく合わないときは

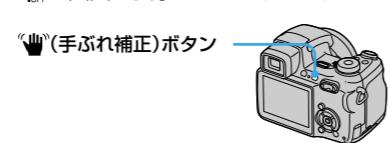
- W側で被写体までの距離が約50cm以上取れないときは、「マクロ撮影」(左記)する。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ビピッ」と音がしません(コンティニュアスAF時を除く)→別冊「活用編・困ったときは」49ページ。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いくらいの被写体:

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体

手ぶれ補正について

本機には手ぶれ補正機能が付いています。
解除するときは、モードダイヤルを「■」以外にして、▲(手ぶれ補正)ボタンを押して、▲を画面に表示させる。オンにするには、もう一度▲(手ぶれ補正)ボタンを押す。



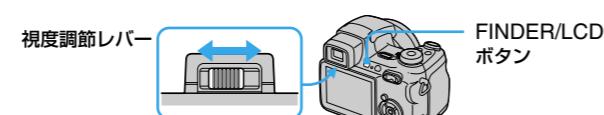
- モードダイヤルが「■」のときは解除できません。
- 手ぶれ補正を解除すると、電池を長持ちさせることができます。
- 手ぶれ補正モードを変えることもできます。→別冊「活用編・困ったときは」53ページ

画面の表示については

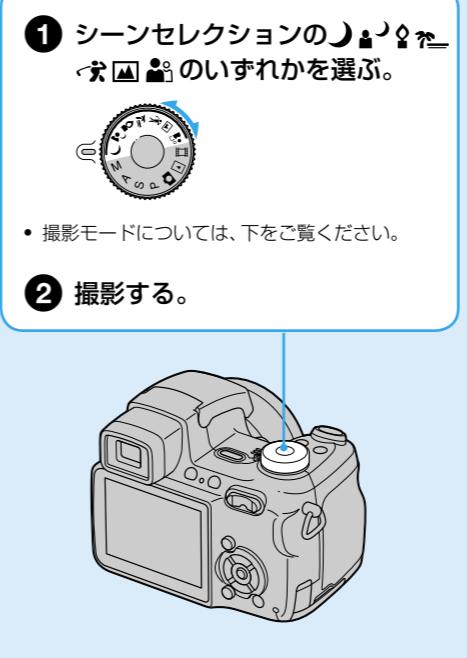
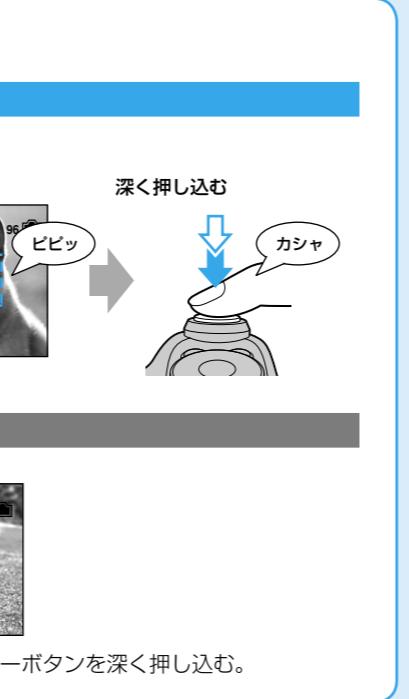
→別冊「活用編・困ったときは」16ページ

ファインダーで撮るには

FINDER/LCDボタンを使ってファインダーで撮影するか液晶画面で撮影するか切り換えることができます。ファインダーに設定すると、液晶画面に画像は映りません。視力に合わせて視度調節レバーを動かし、ファインダー内の画像がはっきり見えるように調節してください。



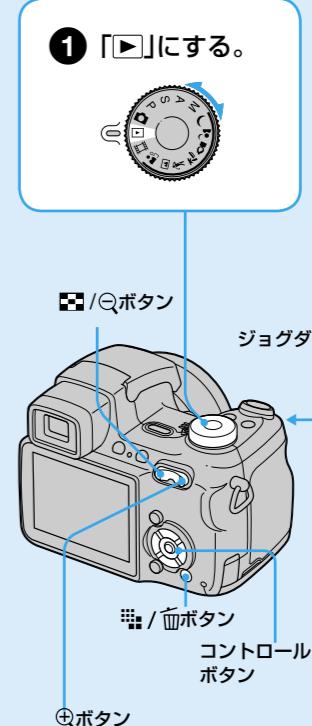
場面に合わせて静止画を撮る(シーンセレクション)



シーンセレクションを解除するには

モードダイヤルをシーンセレクション以外のモードに合わせる。

6 画像を見る／削除する



画像を削除するには

- 削除したい画像を表示して■/▲(削除)ボタンを押す。
- ▲で[削除]を選び、●を押す。



- 削除を中止するには
[終了]を選び、●を押す。

拡大して見るときは(拡大再生)

静止画を再生中に④ボタンを押すと、ズームできる。④で戻る。

ズーム位置変更:▲/▼/◀/▶

ズーム中止:●

・拡大した画像を保存するには: [トリミング]→別冊「活用編・困ったときは」47ページ

一覧(インデックス)表示で見るときは

■(インデックス)ボタンを押し、▲/▼/◀/▶で画像を選択。●を押すと、シングル画面に戻る。◀/▶を押し続けると、次の画面に移る。



もう一度押すと16画面表示になります。

一覧(インデックス)表示で画像を削除するときは

- 一覧表示中に■/▲(削除)ボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼で[選択]を選び、●を押す。
- 削除したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、●を押して▲(削除)マークを付ける。



- 削除を中止するには
取り消したい画像を選んで●を押し、▲(削除)マークを消す。

- 3 ■/▲(削除)ボタンを押す。

- 4 ▲で[実行]を選び、●を押す。

- フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で▲/▼で[選択]の代わりに[フォルダ内全て]を選んで●を押してください。

* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

コントロールボタンを使った機能をシーンセレクションと同時に使うには

手順②で撮影する前に設定してください。モードによっては使えない機能があります。使えない機能のボタンを押すと、ビビビと音が鳴ります→別冊「活用編・困ったときは」26ページ。